2021年５月28日

各　位

会 社 名　株式会社エンバイオ・ホールディングス
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　　西　村　実
（コード番号：6092）
問合せ先　経　　理　　部　　長　　長谷川忠玄
（TEL.03-5297-7155）

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開催日時	2021年５月28日（金）15:00～
開催方法	インターネットを利用した動画配信
動画掲載場所	当社コーポレートサイト https://enbio-holdings.com/ir/news
説明会資料名	2021年３月期　決算説明資料

【添付資料】

2021年３月期　決算説明資料

以上

ENBIO HOLDINGS, INC.

銘柄コード[6092]

株式会社エンバイオ・ホールディングス

2021年3月期
決算説明資料

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

目次

1. 会社概要

2. 2021年3月期　決算概要

3. 事業セグメントの営業状況

4. 2022年3月期　通期業績予想

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

1. 会社概要

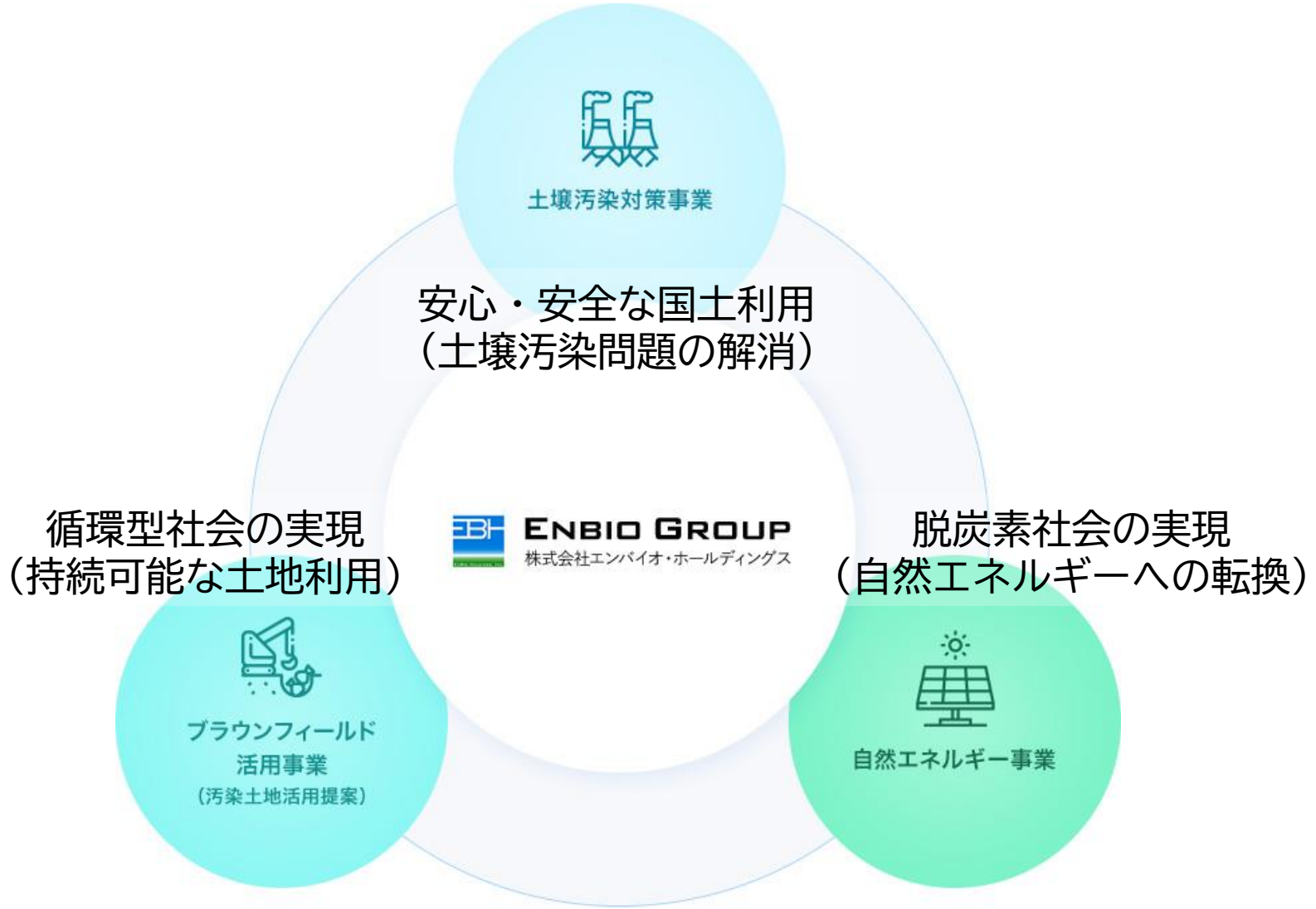
© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

会社概要

会社名	株式会社エンバイオ・ホールディングス	
代表者	代表取締役社長　西村　実	
本社	東京都千代田区鍛冶町2丁目2番2号	
設立	1999年6月23日	
事業内容	土壌汚染の調査・対策工事・コンサルティング ブラウンフィールドの活用 自然エネルギーの活用	
資本金	1，794百万円（2021年3月31日現在）	
連結業績 （2021年3月期）	売上高　6，840百万円 経常利益　592百万円	
グループ従業員数	81名（2021年3月31日現在）	
主要な子会社	・株式会社エンバイオ・エンジニアリング ・恩拜欧（南京）環保科技有限公司 ・株式会社エンバイオ・リアルエステート ・株式会社土地再生投資（60%）	・ヴェガ・ソーラー合同会社 ・アルタイル・ソーラー合同会社 ・ソーラー年金株式会社 ・太陽光パーク2合同会社 ・Enbio Middle East　FZE LLC（UAE） ・Enbio Lel Taqa FZC LLC（UAE）（80%）
主要な関連会社	Carbon&Volts Sdn.Bhd.（40%）	

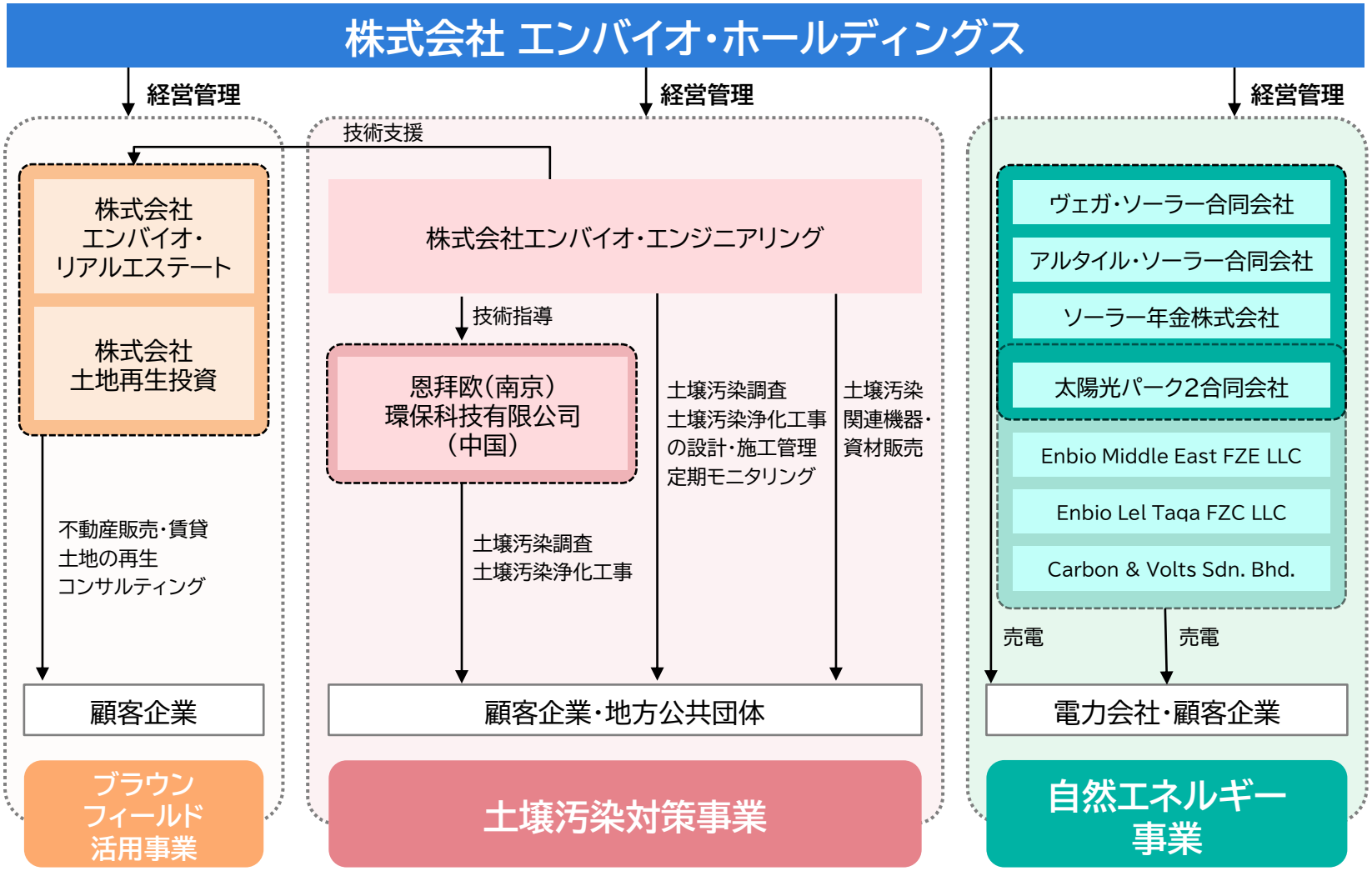
© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

エンバイオ・グループ　主力3事業



© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

事業系統図



© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

土壌汚染対策事業

用地仕入

開　発

管理運用

① 土壌汚染リスク評価

② 土壌調査

③ 一時保有による汚染リスク隔離
※グループ会社で実施

④ 土壌汚染対策工事
（コストキャップ保証による開発支援）

⑤ 汚染地内での解体新築工事支援

⑥ 汚染地管理運用支援

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

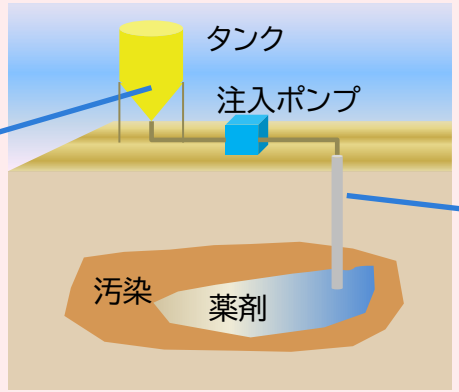
土壌汚染対策事業

様々な技術を組合せて最適な工法を提案

- 土壌汚染調査
  - 原位置調査
    - ダイレクトセンシング
- 土壌汚染対策
  - 原位置浄化
    - 化学酸化還元処理
    - バイオ
    - 揚水処理・ガス吸引
    - 熱脱着（ISTD）
  - 掘削除去
  - 封じ込め重金属不溶化

原位置浄化システムの一例







© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

土壌汚染対策事業

工法例
原位置浄化プラント

対象物質:トリクロロエチレン

原位置浄化プラントによる汚染地下水の浄化と微生物活性促進剤の注入。**低濃度広範囲**の汚染を低コストで浄化可能



© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

土壌汚染対策事業

工法例
原位置熱脱着(ISTD)

対象物質:トリクロロエチレン

原位置熱脱着法による
粘性土高濃度汚染の浄化



加熱ヒーター井戸と回収井戸



回収した汚染物質の無害化処理装置

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

土壌汚染対策事業

先進的な資機材を用いた調査・浄化システムの提案

米国環境保護局が開発を支援した原位置調査・浄化の基盤設備（ジオプローブマシン）の国内独占販売権を核に各種ツールス、浄化用薬剤を組み合せた原位置調査・浄化用システムを提供



Geoprobe Systems

HRC HYDROGEN RELEASE COMPOUND

HRC ADVANCED HYDROGEN RELEASE COMPOUND

ORC OXYGEN RELEASE COMPOUND

REGENESIS

Solinst





QED Environmental Systems





© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

土壌汚染対策事業の中国展開

恩拝欧(南京)環保科技有限公司(100%出資子会社)	
(1) 代表者	董事長　西村実 総経理　王　寧
(2) 所在地	中国　南京市
(3) 資本金	610万人民元
(4) 事業内容	・環境・労働安全衛生に関するコンサルティング ・土壌汚染調査・対策工事の設計、施工及び管理
(5) 許可	環保工程専業承包三級
(6) 設立年月日、決算期	2018年2月12日、12月

サービスメニュー

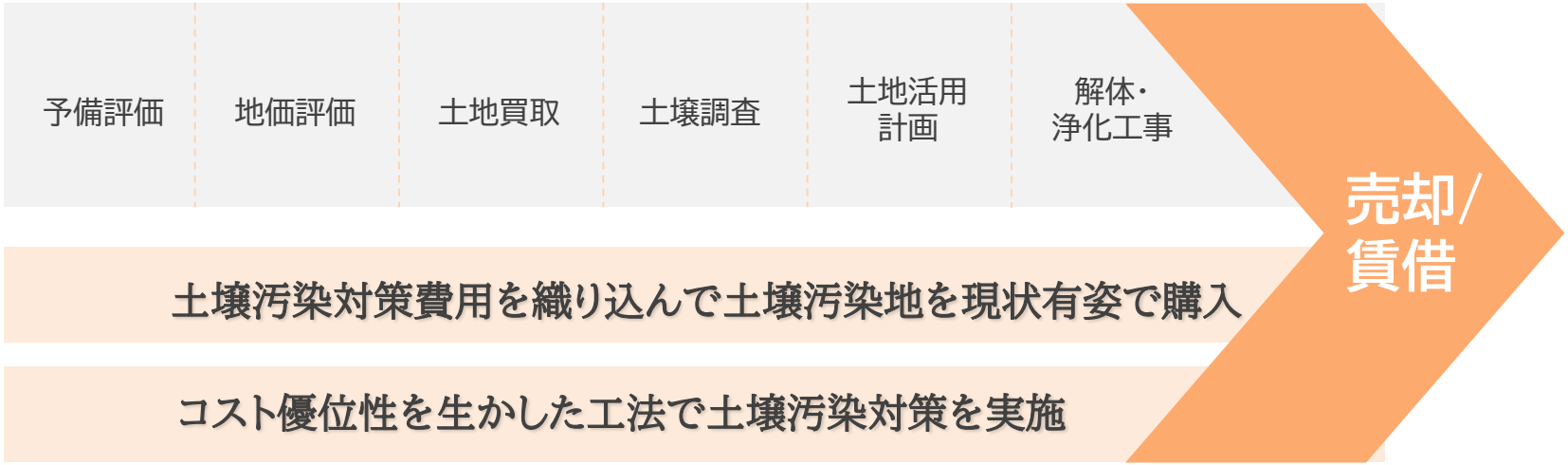
- 工場移転、M&Aに備えた環境デューデリジェンス
- 工場移転、用途変更、再開発時の土壌汚染調査及びリスク評価、専門家審査会対応
- 重点監視管理企業の土壌潜在汚染調査、自主モニタリング
- 土壌汚染修復方案の策定、専門家審査会対応
- 土壌汚染修復工事の設計・施工及び管理、専門家審査会対応

日本の経験・実績を基にした修復技術を日本品質で提供
日系企業には日本本社向けに報告書・報告会の日本語対応

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

ブラウンフィールド活用事業

土壌汚染対策事業と連携したトータルソリューション



エンバイオ・リアルエステート

- **売却用物件** ： 基本的に1年以内に売却を行う物件
  （区域指定の解除を行う為の地下水モニタリングがある場合は＋2年）
- **保有物件** ： 基本的に1年以上賃料収入を得て保有する物件
- **投資方針** ： 1案件当りの投資額　2,000万円～5億円
  売却用物件のプロジェクト利益率10％以上、保有物件の表面利回り8％以上

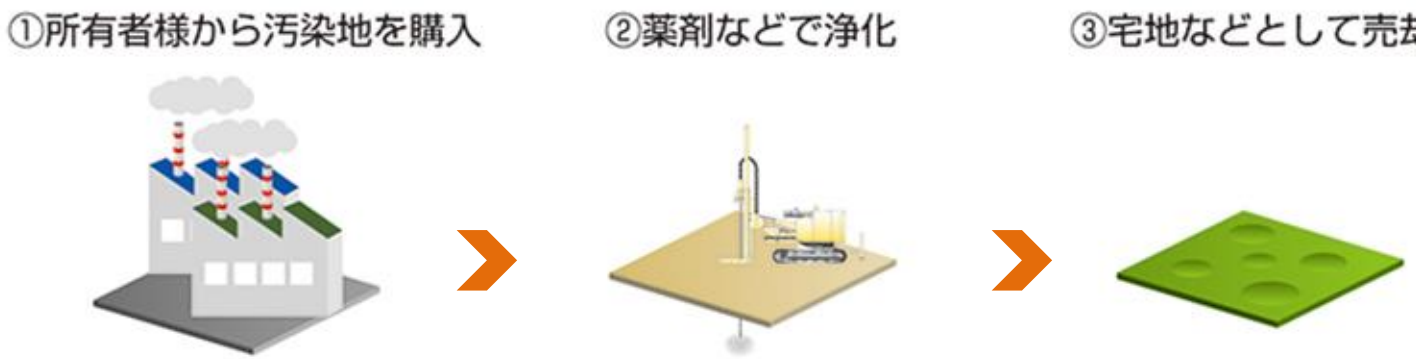
土地再生投資

- **対象物件** ： 重篤な土壌汚染のある土地又はその恐れのある土地
- **投資方針** ： 売却用物件1案件当りの投資額　5億円～20億円程度
  プロジェクト利益率10％以上

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

ブラウンフィールド活用事業

エンバイオ・リアルエステートの取り組み



（例）

- 要措置区域の指定を受けた後に、所有者が破産
- 弊社が現況有姿・瑕疵担保免責で購入
- エンバイオ・エンジニアリングにて土壌浄化（原位置浄化）施工後、2年間モニタリング実施
- 要措置区域解除後、大手戸建業者へ売却

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

ブラウンフィールド活用事業

土地再生投資の取り組み



© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

自然エネルギー事業



太陽光発電
水資源開発
（ヨルダン）



自然エネルギー

太陽光発電
（国内で30か所）



バイオマス発電
地域バイオマス利用
（トルコ）

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

自然エネルギー事業

太陽光発電
（国内で30か所）

FITによる売電を各電力会社へ行う

太陽光発電
水資源開発
（ヨルダン）

電力は地下水を汲み上げる動力として使用

バイオマス発電
地域バイオマス利用
（トルコ）

地域バイオマスを利用したガス化発電を行う

【エンバイオ千葉若葉太陽光発電所（748kW）】

本発電所は当社31か所目の太陽光発電所となります（3月完成、4月より稼働）





© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

2. 2021年3月期 決算概要

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

2021年3月期　連結実績

（単位：百万円）

	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想 （2021年2月公表）	2021年3月期 実績	前期比	予想比
売上高	7,408	6,804	6,840	92.3%	100.5%
営業利益	674	467	617	91.7%	132.2%
経常利益	521	353	592	113.6%	167.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	555	217	304	54.7%	139.6%

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

2021年3月期　連結貸借対照表推移

■ **現金及び預金　761百万円減･･･** ブラウンフィールド活用事業において販売用物件の仕入による支出
自然エネルギー事業において、海外での新規事業開発のための海外関連会社への貸付

■ **たな卸資産　498百万円増･･･** ブラウンフィールド活用事業において、大型物件を1件仕入れたことで大幅増加

	2020年3月期				2021年3月期（単位：百万円）			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
資産の部								
現金及び預金	3,719	3,483	3,295	2,981	3,147	2,746	2,776	**2,015**
受取手形及び売掛金	1,141	1,353	993	1,355	1,023	873	846	**978**
たな卸資産	2,270	2,105	2,354	2,448	1,764	1,974	2,620	**3,119**
その他流動資産	232	344	412	793	493	532	521	**502**
有形固定資産	5,527	5,629	5,599	5,746	7,244	7,334	7,356	**7,332**
無形固定資産＋投資その他の資産	1,890	2,042	1,859	1,698	1,664	1,666	1,651	**1,748**
繰延資産	15	12	10	8	6	4	3	**2**
資産合計	14,797	14,971	14,526	15,034	15,344	15,133	15,777	**15,698**
負債･純資産の部								
買掛金	531	738	591	706	503	583	566	**542**
有利子負債	8,305	8,076	7,709	8,159	8,925	8,720	9,003	**9,071**
その他流動負債	711	842	878	913	355	251	582	**444**
その他固定負債	455	400	388	364	355	374	351	**322**
純資産	4,794	4,914	4,959	4,890	5,205	5,203	5,273	**5,317**
負債･純資産合計	14,797	14,971	14,526	15,034	15,344	15,133	15,777	**15,698**

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

2021年3月期 セグメント別実績

（単位：百万円）

		2020年3月期実績	2021年3月期予想（2021年2月公表）	2021年3月期実績	前期比	予想比
売上高	土壌汚染対策事業	4,627	3,260	3,272	70.7%	100.4%
	ブラウンフィールド活用事業	1,522	2,302	2,309	151.7%	100.3%
	自然エネルギー事業	1,258	1,241	1,258	100.1%	101.4%
	合計	7,408	6,804	6,840	92.3%	100.5%
セグメント利益	土壌汚染対策事業	240	△45	57	23.9%	-
	ブラウンフィールド活用事業	218	329	368	168.4%	111.6%
	自然エネルギー事業	177	167	250	140.7%	149.5%
	その他	△115	△98	△83	-	-
	合計	521	353	592	113.6%	167.7%

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

2021年3月期 セグメント別売上高・利益推移

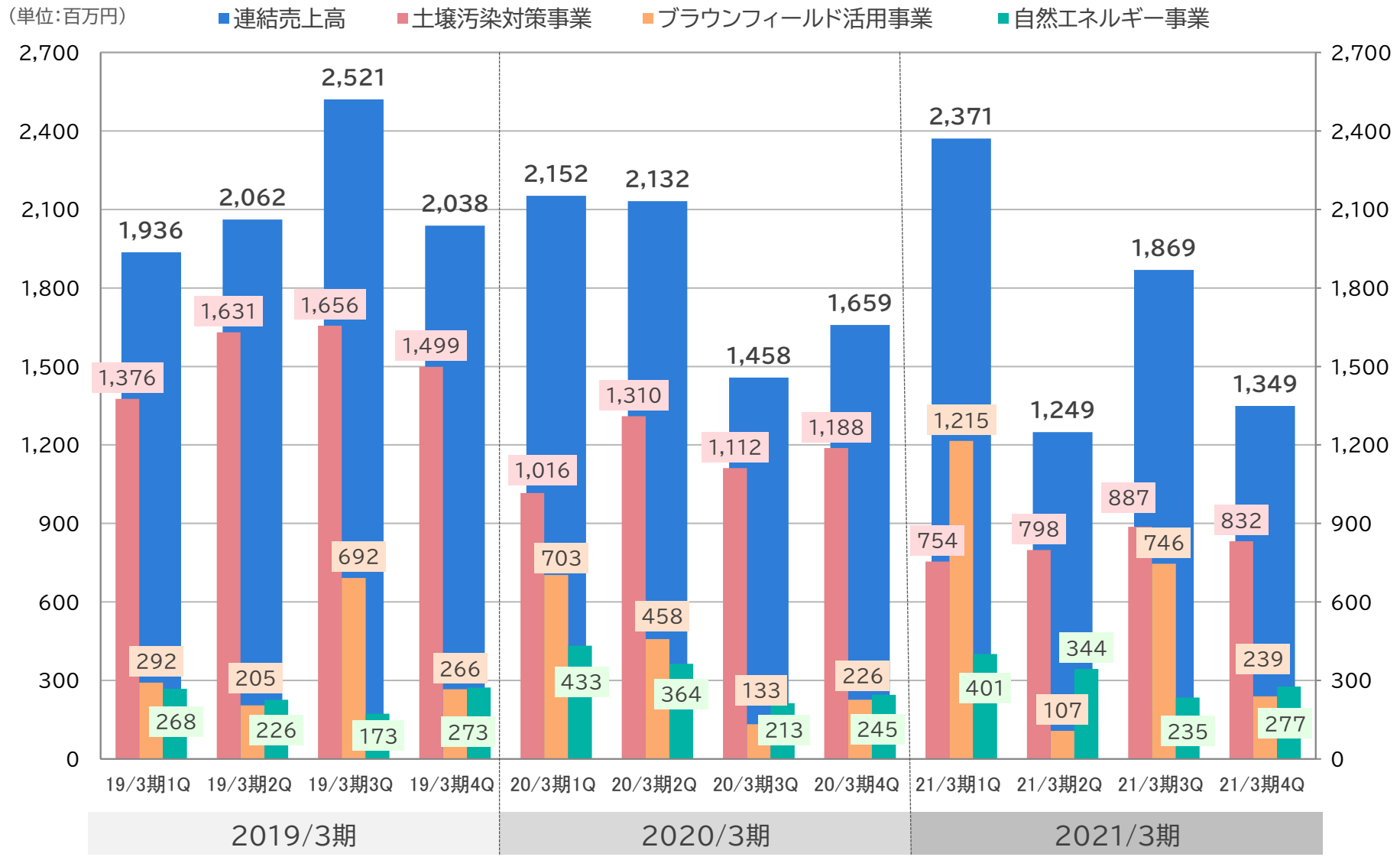
- **土壌汚染対策事業**・・・・・・新型コロナウイルス感染症の影響により、国内では着工遅れから来期へ延期された案件が目立ち、それに加えて中国では発注者側の計画見直しや行政手続き遅延発生したため、減収減益
- **ﾌﾞﾗｳﾝﾌｨｰﾙﾄﾞ活用事業**・・・土地再生投資で解体・土壌浄化工事を実施した第1号となる大規模案件の売却完了等により増収増益。販売数（当期：15物件、前期：13物件）・利益率ともに前期を上回る
- **自然ｴﾈﾙｷﾞｰ事業**・・・・・・・・予定通りヨルダンでの太陽光発電所稼働開始。円安（対米ドル）が進んだことで、為替差損益がプラスに転じた影響及び保険金収入等により、当期は増益

（単位：百万円）

	2020年3月期					2021年3月期						
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	前年同四半期比	前年同期期末累計比
土壌汚染対策事業												
売上高	1,016	1,310	1,112	1,188	4,627	754	798	887	832	3,272	70.0%	70.7%
利益	28	93	157	▲38	240	43	▲26	▲16	56	57	–	23.9%
利益率	2.8%	7.1%	14.1%	–	5.2%	5.8%	–	–	6.8%	1.8%	–	–
ブラウンフィールド活用事業												
売上高	703	458	133	226	1,522	1,215	107	746	239	2,309	105.6%	151.7%
利益	124	87	▲11	17	218	173	▲14	186	21	368	123.0%	168.4%
利益率	17.7%	19.1%	–	7.9%	14.4%	14.3%	–	25.0%	9.2%	15.9%	–	–
自然エネルギー事業												
売上高	433	364	213	245	1,258	401	344	235	277	1,258	112.8%	100.1%
利益	163	87	▲56	▲15	177	182	60	▲41	48	250	–	140.7%
利益率	37.7%	23.9%	–	–	14.1%	45.4%	17.6%	–	17.4%	19.9%	–	–

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

連結及びセグメント別売上高推移



© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

3. 事業セグメントの営業状況

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

3-1. 土壌汚染対策事業の進捗

3-1.1 国内事業の取り組み

3-1.2 中国事業の取り組み

3-2. ブラウンフィールド活用事業の進捗

3-2.1 エンバイオ・リアルエステートの取り組み

3-2.2 土地再生投資の取り組み

3-3. 自然エネルギー事業の進捗

3-3.1 国内事業の取り組み

3-3.2 海外事業の取り組み

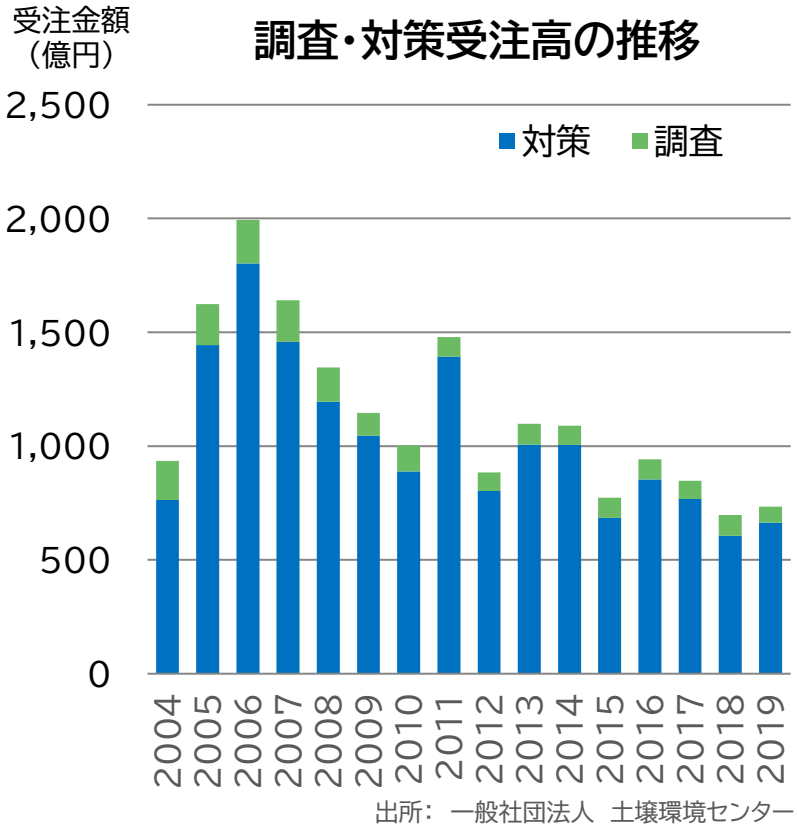
© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

土壌汚染対策事業の受注環境

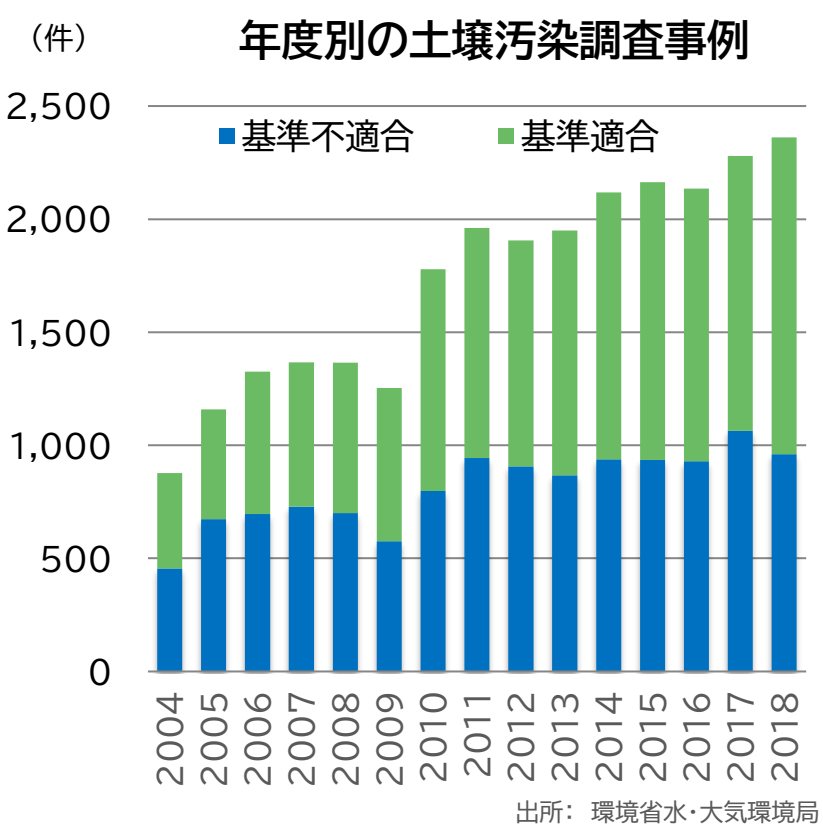
■ 2010年改正土壌汚染対策法の施行以降、土壌汚染調査件数は増加傾向

■ 2019年4月土壌汚染対策法の一部を改正する法律施行、土壌汚染調査の契機が拡大

■ 調査・対策受注高は工事単価の低価格化が進み減少傾向、売上拡大には土壌汚染対策事業とブラウンフィールド活用事業との連携が不可避



出所： 一般社団法人 土壌環境センター



出所： 環境省水・大気環境局

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

3-1. 土壌汚染対策事業の進捗

3-1.1 国内事業の取り組み

■ 営業状況

- 不動産売買が活発化し用地仕入の競争が厳しくなっている中で、顧客が求める土壌汚染対応の内容が低コストかつ不動産開発事業に連動した複雑なものに変化しており、従来型のサービスの売上が減少した
- 汚染土壌の掘削除去工事に他建築土木関連業者が参入し、価格競争のため売上が減少した

■ 今後の取り組み

- 強みである原位置浄化工法とリスク管理手法を併用した提案営業により、より幅広いニーズに対応し、受注を増やす
- 「土地売買、解体新築工事、土地運用」の支援までサービスを拡充し、ブラウンフィールド活用事業との連動を密にすることによって営業効率を改善する
- 上記目標を達成するために、より円滑な組織活動が可能な体制を整える
- 業務提携企業と連携も含め、土壌汚染以外の環境・インフラ保全業務を新たな事業の柱として確立する

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

3-1. 土壌汚染対策事業の進捗

3-1.2 中国事業の取り組み

■ 市場環境

- 土壌汚染防治法施行（2019年1月）により土壌修復市場が本格的に顕在化
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響で2020年1～3月は経済活動が停滞
- 春以降経済活動は緩やかに回復するも感染拡大への警戒が強く、計画の見直しや遅延が発生し、案件数は想定程増えていない

■ 営業状況

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響で行政手続きが滞り工程が遅延したため、見込んでいた修復工事は受注に至らず通期予算は大幅未達
- 現地法人の体制見直しによる固定費削減と調査を実施した修復工事案件の早期受注による回復を目指す

■ 受注実績

業務内容	2020/1-12（連結対象）
コンサルティング	5
土壌調査	7
修復工事	0

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

3-2. ブラウンフィールド活用事業の進捗

●不動産市場　：2020年10月以降、不動産売買が活発。不動産業者間の仕入競争激化

●グループの取り組み　：大手仲介や銀行系仲介会社を中心に、土壌汚染の深刻な工場等の情報収集を行う
デベロッパーへ土壌汚染コンサルティングの営業を行う

●4Qの結果、成果　：3物件の販売（戸建分譲含む）、埼玉県内の金属加工工場（面積：約10,066㎡）を含む3物件の購入
千葉県白井市の工場（面積：約14,919㎡）の解体実施、浄化工事着手予定

2-2.1 エンバイオ・リアルエステートの取り組み

購入販売実績

（単位：件数）

	2021年3月期					
	前年度末	1Q	2Q	3Q	4Q	年度合計
売却用物件（取得）	–	2	4（+1※1）	2	3（+3※2）	11（+4※1、2）
売却用物件（売却）	–	3	1	7	3	14
売却物件残数	21	20	24	19	22	22
保有物件（取得）	–	0	1	0	1	2
保有物件（売却）	–	0	0	0	0	0
保有物件残数	17	17	18	18	19	19

※1　武蔵村山市神明物件を1Qまで1区画でカウントしておりましたが、それを販売形態に合わせて2区画に分けた為、売却物件残数が1件増加しております。

※2　横浜市港南区物件を3Qまで1区画でカウントしておりましたが、それを販売形態に合わせて4区画に分けた為、売却物件残数が3件増加しております。

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

3-2. ブラウンフィールド活用事業の進捗

2-2.2 土地再生投資の取り組み

第1号案件　2021年3月期第1四半期売却完了	
(1) 所在地	神奈川県横浜市
(2) 面積	約3, 358㎡
(3) 現状	商業テナント誘致が完了(事業用定期借地権契約締結済) テナントの新築工事をエンバイオ・エンジニアリングにて建築 2020年5月売却完了

第2号案件　2021年3月期第1四半期土地取得完了	
(1) 所在地	神奈川県厚木市
(2) 面積	約10, 032㎡
(3) 今後の予定	2020年6月土地取得済 2年間の定期借家賃貸借契約締結 退去後、解体・土壌汚染浄化工事を行い、2025年3月期中に物流用地として売却予定

第3号案件　2021年3月期第3四半期土地取得完了	
(1) 所在地	千葉県白井市
(2) 面積	約14, 919㎡
(3) 今後の予定	2020年10月土地取得済 行政協議、解体・土壌汚染浄化工事を行い、2022年3月期中に物流用地として売却予定

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

3-3. 自然エネルギー事業の進捗

2-3.1 国内事業の取り組み

- 36. 2MWの太陽光発電所が稼働中
- 千葉市内にて太陽光発電所（748kW）の新規建設を予定。2021年1月着工、3月完成（4月より稼働）



© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

3-3. 自然エネルギー事業の進捗

2-3.2 海外事業の取り組み

■ ヨルダン（太陽光発電事業）

- ヨルダンにて705kWの太陽光発電所が計画通りに稼働中
  プロジェクトIRRは8.7%を見込む
- 2号案件、3号案件の開発に着手



太陽光発電所（Al Khalidya）

- 太陽光発電を用いて地下水を揚水し、
  地域へ供給する事業を展開
- 【2020年度実績、8月～12月末】
  地下水供給量：168,000㎥
  水を供給した農地：240,000㎡
- 【2号案件、3号案件の供給計画】
  地下水供給量：240,000㎥（予定）
  水を供給する農地：650,000㎡（予定）

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

3-3. 自然エネルギー事業の進捗

2-3.2 海外事業の取り組み

■ トルコ（バイオマス発電事業）

- トルコにてバイオマス発電所完成し系統連系済み
- 本発電所では鶏糞を利用したガス化発電を行う予定



バイオマス発電所（Goynuk）

◆ 世界各地で大量に廃棄されているバイオマス資源を有効利用する事業
トルコ中西部において鶏糞を燃料とした バイオマス・ガス化発電事業を計画中

◆ 【Goynukでのバイオマス利用計画】
鶏糞：18,360トン/年（予定）

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

4. 2022年3月期 通期業績予想(連結ベース)

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

4-1. 2022年3月期 連結業績予想

新型コロナウイルス感染拡大による影響を引き続き考慮しつつ、経済の変化に対応するために翌期以降の収益に貢献する支出を積極的に行う方針のもと、増収減益の計画を組みました。

■土壌汚染対策事業
新型コロナウイルス感染拡大の影響による着工遅れ等が解消されつつあり、今期は年々変化を続けている市場・顧客のニーズに素早く対応するため、強みである原位置浄化技術に磨きをかけつつも、幅広い角度からのコンサルティング提案に力を入れていくことで、増収増益を見込む。

■ブラウンフィールド活用事業
今期は、土壌汚染対策等難易度の高い物件の売却を多数見込んでおり、売上は伸長するものの、原価率の悪化により増収減益を見込む。昨年度新型コロナウイルス感染拡大の影響で低調であった仕入に注力。

■自然エネルギー事業
稼働中の国内36MW、海外0.7MWから安定的な収益を生み出す一方、新規取得や新たなビジネスモデルを開始するための支出増加を見込む。新型コロナウィルス感染拡大の影響によりトルコの許認可の取得が予定を大幅に遅延。保険金収入の減少の影響もあり、売上、利益ともに保守的な計画となった。

（単位：百万円）

	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	前期比
売上高	6,840	8,550	125.0%
営業利益	617	466	75.6%
経常利益	592	346	58.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	304	261	86.0%

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

4-2. 2022年3月期 セグメント別業績予想

（単位：百万円）

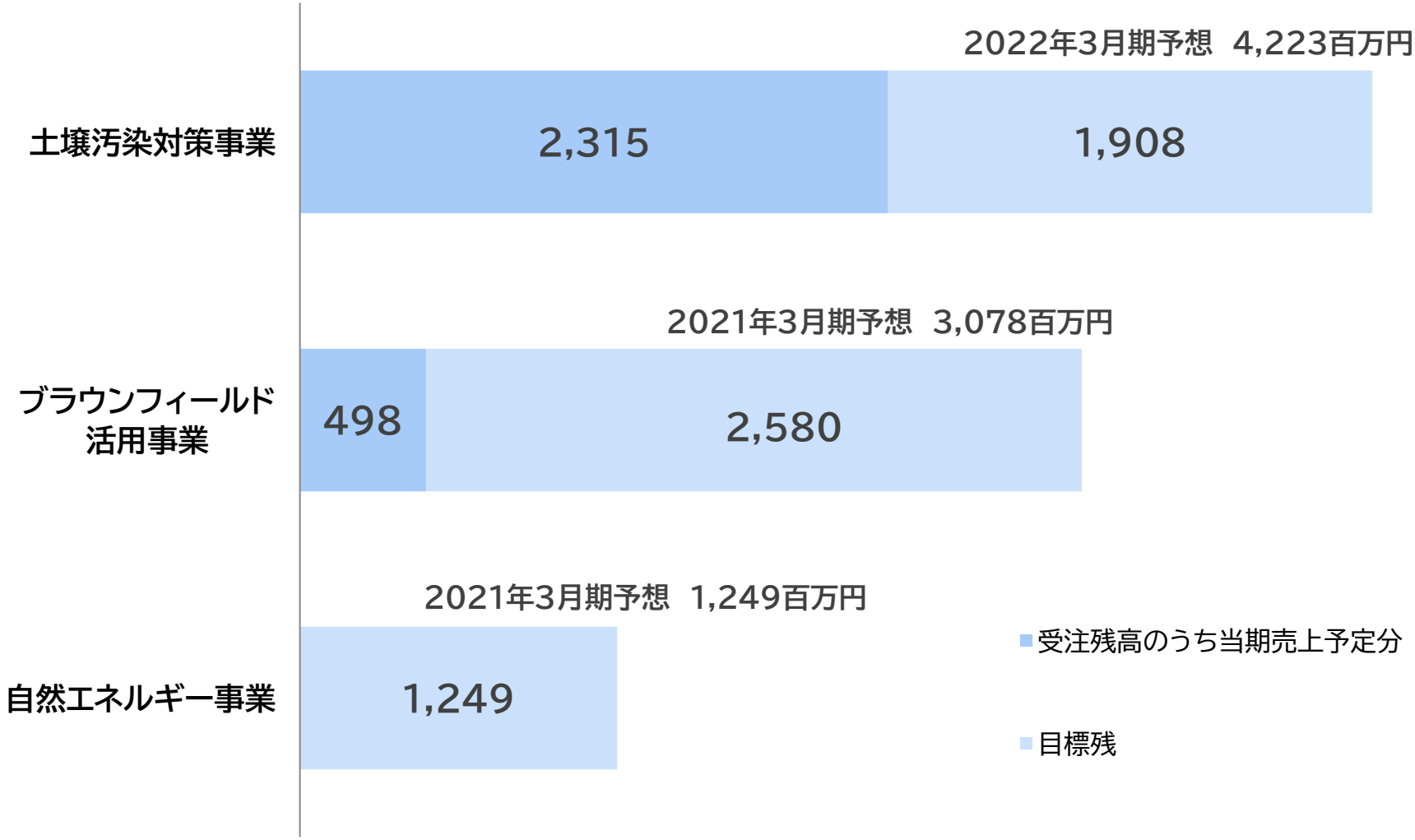
		2021年3月期実績	2022年3月期予測	前期比
売上高	土壌汚染対策事業	3,272	4,223	129.1%
	ブラウンフィールド活用事業	2,309	3,078	133.3%
	自然エネルギー事業	1,258	1,249	99.2%
	合計	6,840	8,550	125.0%
セグメント利益	土壌汚染対策事業	57	251	437.0%
	ブラウンフィールド活用事業	368	165	45.1%
	自然エネルギー事業	250	92	37.1%
	その他	△83	△163	-
	合計	592	346	58.4%

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

各セグメントの売上予測に対する進捗状況

2021年4月23日現在

（単位：百万円）



© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

長期経営ビジョンとSDGsへの貢献

地盤環境・エネルギーに関わる社会課題の解決に、グローバルな専門企業集団として貢献します



＊ロゴは国連広報センターのHPより

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.

ご留意点

本資料及び本説明会における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、将来の予測であってリスクや不確定要素を含んだものであります。従いまして、実際の業績等は、様々な要因により記載の内容とは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社の提供するサービス等に対する需要動向や競争激化による価格下落圧力などです。

なお、業績に影響を与えうる要因は、これらに限定されるものではありません。

お問い合わせ先

株式会社エンバイオ・ホールディングス

管理部　長谷川

TEL　　: 03-5297-7155
FAX　　: 03-5297-0581
E-mail　: info@enbio-holdings.com
Website : https://enbio-holdings.com/

© 2021 ENBIO HOLDINGS, INC. All rights reserved.